



7月の行事予定



1	月		16	火	安全点検
2	火	委員会 [わくスタ]	17	水	給食最終日 フッ化物洗口
3	水	フッ化物洗口	18	木	通学班会 下校指導 短縮3校時
4	木	なかよし集会 [わくスタ]	19	金	終業式 大掃除 短縮3校時
5	金	集金日 5年学年PTA 地域別懇談会	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	個別懇談①
8	月	教員読み聞かせ 漢字大会	23	火	個別懇談②
9	火	算数大会 クラブ [わくスタ]	24	水	
10	水	5年非行防止教室・6年薬物乱用防止教室 フッ化物洗口	25	木	個別懇談③
11	木	朝のお話会 [わくスタ]	26	金	
12	金		27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月	<海の日>	30	火	
			31	水	育ち合う瑞穂の子らの集い

**8月の予定
9月当初の予定
PICK*UP**

8月25日(日)学校整備作業
29日(木)始業式 通学班会 短縮3校時
30日(金) 短縮3校時
9月2日(月)給食開始
夏休み作品展(～6日)
12日(木)瑞穂参観デー
21日(土)運動会

子ども安全見守りボランティアについて
先月、保護者の皆様や瑞穂地域の皆様に募集をいたしました「子ども安全見守りボランティア」ですが、7名の方に応募いただきました。ありがとうございました。引き続き、募集をしておりますので、御協力いただきますようお願いいたします。

御覧ください!!「PTAニュース」電子版

PTA本部役員会からのお知らせ

本部役員会では、PTA活動をより活性化させることや保護者と学校、そして地域との連携を強めることを目標として掲げ、PTA活動についての記事を作成し「PTAニュース電子版」として学校ホームページから御覧いただけるようにしています。御理解と御支援をいただきますようお願いいたします。



※スマートフォン等で閲覧できます。<検索キーワード例>：瑞穂小学校 ホームページ>

育ち合う瑞穂の子らの集い

◇ 日 時 令和元年7月31日(水) 9:00～11:30

◇ 場 所 山村開発センターみずほ

<内 容> 瑞穂地域内の小学校や中学校に通学する児童・生徒と府立丹波支援学校に通学する児童・生徒、京丹波町共同作業所の方々が、みずほ保育所・民生児童委員会、社会福祉協議会、町保健福祉課等多くの方々と交流し互いの理解を深めます。
当日は、自己紹介の後、ゲームをして楽しく過ごします。本校のPTA会員から人権委員会委員の方が参加されます。



<ともに過ごす楽しさ、ともに学ぶ喜びのある学校>



瑞穂小学校だより

発行 京丹波町立瑞穂小学校 令和元年7月1日 No.4
京丹波町橋爪松山118番地 TEL: 0771-86-0009
URL: <http://www.kyoto-be.ne.jp/mizuho-es/cms>

大切にしたい、本物がくれる感動と自信

最も遅い記録を61年ぶりに更新し、ようやく梅雨入りを迎えました。「じめじめ」「ベタベタ」・・・、そんな印象のある梅雨を、好きなわけでも心待ちにしていたわけでもありませんが、来るべきものが来ないと何となく落ち着かないのは、暦や節気、季節感に関する言葉に慣れ親しんで1年を過ごす私たちだからなのでしょう。多くの作物には欠かせない時期、農家の皆さんもホッとされていることと思います。子どもたちが毎朝頑張っている畑の水やりも、今朝はひと休み。田畑を潤し、夏の湯水を招かない程度の「人に優しい梅雨」であることを願います。

6月21日から、5年生児童23名が2泊3日の若狭自然体験学習に行ってきました。遅い梅雨入りにも助けられ、シーカヤックやカッター、磯観察など、海辺ならではの活動に力いっぱい取り組むことができました。「協力・けじめ・挑戦」という、子どもたちが目標にしていたキーワードをいつも心にとどめ、活動したり振り返りをしたりする子どもたちの姿に、学校生活だけでは気付かなかった良いところをたくさん見つけることができました。また、高学年となり自覚や責任感を身に付けた姿に大きな成長を感じる嬉しい3日間でもありました。保護者の皆様にはいろいろと御協力いただき、本当にありがとうございました。

<カッターは漕手の団結で進む!>



さて、本校が自然体験学習の場を選んでるのは、国立若狭湾青少年自然の家という国立青少年教育振興機構が運営する施設です。全国にある28の施設が、それぞれの立地条件を生かした特色ある体験活動を「体験の風をおこそう」という共通のキャッチコピーを掲げ、学校や青少年に提供しています。「体験」とは何でしょう?その答えの1つは「本物に触れる」ということだと思います。体を動かし諸感覚を刺激する直接的な体験は、インターネット上に溢れる実体験を伴わない情報を知識として取り入れる行動とは対極にあるものです。子どもの頃の体験が豊富なほど、成長してからの共生感や意欲・関心、人間関係能力、職業意識、規範意識などの資質・能力が高い傾向があるという調査結果もあります。(「子供の体験活動の実態に関する調査研究」平成22年)子どもの健やかな成長にとって、本物に触れる自然・生活文化・社会体験、地域の活動、家族行事などの体験が大きな意味を持ち、自信を育み、豊かな人生の基盤になっていることは間違いのないと思います。

若狭自然体験学習を終え、学校に着いた子どもたちから、「校長先生、帰って来て嬉しい。やっとゲームができる。」という声が聞かれました。一抹の寂しさは感じましたが、これも今の子どもたちの真実の姿、否定するだけでは何も変わりません。だからこそ、本物に触れ、五感を通して情報を得る体験の場や機会を大切に、脳と心と身体のバランス良い成長を見守っていくことが必要なのだと思います。

校長 谷 寿賀子

たくさんの体験!

若狭自然体験学習



【カッター訓練】



【キャンプファイヤー】



【シーカヤック】



【磯観察】

6月21日(金)から23日(日)にかけ、5年生が若狭自然体験学習を行いました。好天に恵まれる中、1日目にシーカヤックとナイトハイク、2日目にカッター訓練と磯観察、3日目に若狭塗りばし作りを体験しました。また、2日目の夜にはキャンプファイヤーを行いました。

「協力して、けじめをつけて、何事にも挑戦しよう」というめあてで、23人全員が意識し、協力して3日間を過ごしました。みんなで声をかけ合い、助け合いながらそれぞれの活動を行いました。普段できない海の活動が満喫できた体験学習でした。この学習を通して、多くのことを学び成長した5年生です。

＜児童の感想より＞

・この学習でみんなと協力して活動できたことがよかったです。集合時刻よりも早く集まってたくさん体験でき、多くのことに挑戦できました。けじめをつけた行動も意識していたので、学校生活でも生かしていきたいです。

土曜活用事業

PTA活動「人権講演会」「救命救急法講習会」



6月29日(土)、PTA人権委員会による「人権講演会」が行われました。本年度は、「あそび工房もくもく屋」の田川雅規様に「大切な『いま』の気持ちをとどけよう」という演題で講演していただきました。遊びを通して、子どもとの上手な関わり方や声のかけ方など教えていただき、子育てをしていく上で大切なことを示唆していただきました。子どもにも大人に分かりやすいお話でした。

その後は、園部消防署丹波出張所の方から救命救急法について学びました。夏休みのプール開放に向け、もしもの時に備えて心肺蘇生法やAEDの使い方についても実技を交えて教えていただきました。安全・安心なプール開放を目指していきたいものです。

3年「校区たんけん」



公民館でお話を聞きました



地域の方に案内してもらいました



みんなそろって『ハイチーズ』



並んで校区を巡りました

6月3日(月)3年生が社会科の学習で「校区たんけん」をしました。校区の様子を知り、地図作りにつなげます。今年度は、地域教育協議会のコーディネーターさんに校区案内をしてくださる地域の方を紹介していただき、その方と一緒に校区を巡りました。大朴、和田、中台の3つのコースに分かれ、お話を聞きながら充実した時間を過ごす事ができました。地域の方に元気な子どもの姿を見てもらいました。

1年2年「茶摘み体験」

5月27日(月)、今年度も大朴区共同生産組合の皆様の御協力により1、2年生が茶摘みの体験をしました。「新しい葉3枚を摘みます」と教えていただき、みんなで摘んでいきました。そのあとは、製茶工場を見学させていただき、お茶の学習をしました。よく冷えた「さらびき茶」もごちそうになり、改めてお茶のおいしさにも触れることができました。地元の特産品を知る良い機会となりました。



おいしい「さらびき茶」



茶摘み体験



製茶工場の見学

